

関係省庁との連携による「和の住まい」の推進

- 関係省庁が連携し、日本の地域の気候・風土・文化に根ざした住まいづくりや住まい方を含めた日本の住文化の良さの再発見・普及に向けた「和の住まい」を推進。

＜和の住まい推進関係省庁連絡会議＞

文化庁、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、観光庁により構成

住まいの要素

瓦屋根、深い軒、板壁、漆喰壁、高窓・天窓、すだれ・よしず、格子、雨戸、襖・引戸、欄間、障子、続き間、縁側、玄関、吹抜け、畳、板の間、土間、真壁、大黒柱、床の間、囲炉裏、土壁、濡れ縁、坪庭、植栽、前庭・・・卓袱台、炬燵、七輪、布団、座布団、蚊帳、行水、打ち水、着物、羽織、袴、下駄、草履、湯たんぽ、風呂敷、団扇・・・

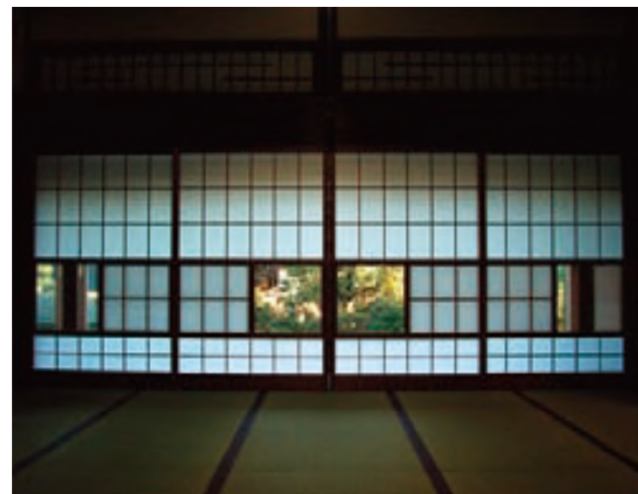
主な活動

（１）ホームページを通じた情報提供

- 「和の住まい」を紹介するパンフレット、関係省庁による関連施策をとりまとめて情報提供
- パンフレットの改定など情報提供の充実を図る

（２）リレーシンポジウムの開催

- 平成25年より全国各地で和の住まいの普及のためのシンポジウムを開催
- 令和6年度までに47都道府県、延べ65ヶ所で開催



様々な機会を捉えた和の住まいの情報発信の強化

- 2026年10月に熊本県で開催される住生活月間関連イベントにおいて、畳や瓦など地域の自然素材を利用する和の住まいの魅力を発信するシンポジウムを開催予定。
- 2027年3月から開催される横浜グリーンエキスポにおいても「和の住まい」に関する幅広い情報の発信を予定。



和の住まい

参加費 無料

推進リレーシンポジウム in 香川

講演
「和の住まいのすすめ」
関係省庁担当官（国土交通省・文化庁・農林水産省・経済産業省）

基調講演
和の住まいの「不易流行」を考える
～どの世代にも響く美しく快適な和の住まいとは～
三浦 祐成 氏（株式会社新報新聞社 代表取締役社長）

2024年
10月6日（日）
14:00～16:30（受付13:30～）
サンメッセ香川【中会議室】
香川県高松市林町2217-1（駐車場あり）
会場参加 定員80名（定員になり次第締め切り）

基調講演講師
株式会社新報新聞社 代表取締役社長
三浦 祐成 氏

時を経て変わることもない普遍的な美しさ・心地よさをとつ和の住まい。現代の技術やライフスタイルと融合することで、「誰かしの未来」とも呼べる。豊かで心地よく、日本人の感性に響く建築を実現できます。そんな和の住まいの実例やその考え方、そしてそんな住まいを築くことと経営に活かす方法を考えます。

講師プロフィール
株式会社新報新聞社代表取締役社長、新報ハウジング・リノベーションジャーナル発行人。1972年山形県生まれ。京都府立、信州大学卒業後、長野市に本社を置く新報新聞社に入社。住宅専門誌「新報ハウジング」編集長を経て現職。ポリシーは「住まいよう100年」の築きづくり。「住宅産業大学」シリーズなど執筆多数。住宅業界向け・生活者向け執筆多数。

主催：一般社団法人 香川県総合建設センター 共催：一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
協力：和の住まい推進関係省庁連絡会議（国土交通省・農林水産省・経済産業省・林野庁・文化庁・観光庁）
後援：香川県 一般社団法人 JBN・全国工務店協会

シンポジウムの周知（R6 香川）



寺院で開催したシンポジウムの様子
（R5 大分）



住生活月間関連イベントにおける組立和室の展示（R7 長野）

横浜グリーンエキスポでの情報発信

日本政府苑イベントスペース等における「和の住まい」のシンポジウムや、和の建材の展示等を検討



日本政府苑 外観イメージ



公式マスコットキャラクター
トウクントウクン